

A_少し傾斜のあるキューブを組み合わせたような外観。2階は西側に広がる景観を味わえるよう、西にボリュームをもたせた。道路に接する東側には、必要最低限の窓を計画。

No 08
Example Report
Builder /
SUNRISE-arc

Note /
中信地区 S邸
家族構成 4人

高台から北アルプスを一望する家

建築家と建てる注文住宅を
手の届く価格で

優美な三角形の常念岳をはじめ北アルプスの山々と松本平を一望する高台にS邸は立っています。一家は、この眺めが気に入ってこの土地を選び、この眺めを思う存分楽しむための家をつくりました。

神奈川県で暮らしていたSさんは、自然を身近に感じられる環境で子どもたちに伸び伸び育ってほしいと、長女の小学校入学を前に長野県に移住。松本平にある奥様の実家で暮らす間に、この土地と出会います。

工務店選びのポイントは主に3つありました。おしゃやかな家をつくっていること。地域に密着していること。断熱・気密・耐震といった性能が保証されて

安心なこと。調べているうちに巡り合ったのが、松本市周辺で注文住宅やリノベーションを手がけるサンライズアークでした。

同社は、建築家と建てるデザイン注文住宅を手の届く価格で提供している工務店。設計のプロとしての優れた知識とセンスをもち、暮らしに寄り添った自由度の高いプランとデザインを提案できる、全国の建築家約80名と提携。そのなかから家族ごとの理想の暮らしにマッチした建築家を、過去の事例を参考にセレクトしてくれます。S邸を担当したのは、東京の今知亮氏でした。

プランは、隣地との距離感など土地条件とうまく折り合いながら、高台という立地の魅力を最大限に生かしました。南・西・東の三方向から、眺望と開放感、そして光を家全体に取り込みます。西側は、2階ホールからの眺めが格別。1階のLDKでも、景観をダイナミックに切り取るピクチャーウィンドー越しに山並みが望めます。東に目を向ければ、近くの山の穏やかな表情に癒やされます。



一方、南側は隣家と適度な距離を取るため庭をつくり、家族の好きなオリーブの木などを植えています。夏には芝生に出したプールで子どもたちが大はし

四季を通じて心地よく、暮らすほどに楽しく

やぎ。冬には焚き火をしてバーベキューを、春になったら家庭菜園に挑戦する予定です。

その庭と屋内とをつなぐのが西南の角にあるテラス。眺めの良さはもちろん、軒を深くすることで屋内への日差しをコントロールし、テラス自体の使い勝手も格段に良くなりました。

インテリアは、床やリビングのウッドパネル、キッチンの天井等に濃い色を使い、壁などの白とコントラストを効かせて、お気に入りの空間に。間取りは、2階は子供部屋のみで、夫婦の暮らしはこの先も1階で完結します。秀逸なのは、キッチンの背後の、リビング・ウォークイン・クローゼット・洗濯・乾燥室・浴室が連なる動線。他にもロールスクリーンで仕切る畳スペース、玄関を入ってすぐのところに設けた洗面など、機能性にも配慮されています。

「住めば住むほど楽しいと思っていただけ」家を目指すサブライズアークにとって、耐震性や省エネ性能の高さは言わずもがな。素晴らしい眺めや庭で信州らしい冬も安心な、四季を通じて心地よく過ごせる住まいです。



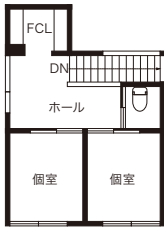
B_キッチンの天板、収納、天井のレッドシダーなど、落ち着いた色で統一した。間接照明を効果的に用いてクールな印象に。 **C**_ダイニングテーブルはキッチン本体の横に続けて配置。料理をしていても、食事の時も、後片づけの際も、家族との会話が弾む。 **D**_LDKとテラスの床の高さを揃え、テラスの軒天も室内の天井高に合わせた。内と外をフラットにつなぐことで、実際の面積以上の広がりを感じられる。 **E**_キッチン前の西側の窓辺に学習コーナーを設けた。家事をしながら子どもたちの勉強にも目を配れる。 **F**_風景を切り取るピクチャーウィンドーと、庭へとつながる窓。目的に合わせて2種類の窓を計画。どの窓もトリプルガラス仕様で断熱性にも優れている。



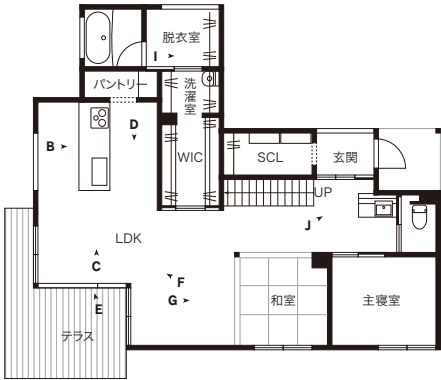
DATA

敷地面積 385.19㎡ (116.29坪)
延床面積 108.47㎡ (32.75坪)
1F面積 83.22㎡ (25.12坪)
2F面積 25.25㎡ (7.62坪)
デッキ面積 12.00㎡ (3.62坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：ヒノキ 3.5寸・レッドウッド3.5寸、梁：ベイマツ、土台：ヒノキ 断熱材／天井：ウレタンフォーム170mm、壁：フェノールフォーム85mm、基礎：ポリスチレンフォーム50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム銅板、外壁：ジョリパット塗装・一部板張り 主な内装仕上げ／天井・壁：ビニールクロス、床：無垢フローリング・畳・フロアタイル 開口部／APW430 キッチン／グラフテクト キッチン熱源／IHクッキングヒーター バスルーム／TOTO サザナ 暖房の種類／エアコン C値／0.3 UA値／0.36



2F



PLAN

Comment

Owner: Sさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A ずっと暮らしていく家だから、信州の冬の寒さにも、地震など自然災害にも安心であること。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A 家のどこにいても眺めがいいこと。洗濯と収納の動線。ウディモダンなインテリア。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A 自分たちの理想を手の届く価格で建築家が叶えてくれるところ。やはりプロの提案は違います。

Builder: 担当／奥原 正義さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

A 信州らしい眺めを暮らしの中で満喫すること。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 立地を生かしボリュームを西に寄せた外観。どこにいても西側の景観を楽しめる窓計画。ロールスクリーンで仕切れる和室。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A サンライズっぽい家ではなく、個々の環境に調和したお客様らしい家。「この土地に家をつくって良かった」と思える家づくり。



G_畳コーナーは2面をロールスクリーンで仕切ることができ、ゲストルームとしても使える。 H_テラスは、外でも中でもない中間領域。軒が深く雨に濡れにくいので、普段の生活の中で積極的に使いたい。 I_浴室から脱衣室、洗濯室、ウォークイン・クローゼットを通してリビングに至る、使い勝手の良い動線。 J_洗面所は寝室のドアの向かい側、玄関から入ってすぐのところにある。子どもたちが帰宅後の手洗い習慣が身についた。 K_グレーの壁に玄関ドアの木の色が映える。カーポートから玄関へのアクセスも良好。 L_庭はオリーブなど家族が好きな植栽で彩った。大切に育てた季節の植物で奥様はドライフラワーを楽しんでいる。